

# 学びのR

No. 18 (平成31年3月)  
埼玉県教育局南部教育事務所  
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/g2201/index.html>

「R」は「reform(改革)」の頭文字です

## \*\*\* 「主体的・対話的で深い学び」で授業改善⑧ \*\*\* ～国語科における学習指導の充実～



\* 今回は、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、国語科の授業改善を考えます。

国語科は、児童・生徒の言語能力を育成する中心的な役割を担う教科です。次期学習指導要領国語科の目標では、国語科において育成を目指す資質・能力を「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」と規定しています。また、この資質・能力を育成するためには、「言葉による見方・考え方」を働かせることが必要となります。これからの国語科では、児童・生徒の発達の段階を踏まえつつ、「言葉による見方・考え方」を働かせながら学習に取り組めるような授業を実践することが求められてきます。

### 「深い学び」の視点に関して、言葉による見方・考え方を働かせるとは……

児童・生徒が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めることであると考えられる。

Q 「対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したり」するとは？

A 言葉で表される話や文章を、意味や働き、使い方などの言葉の様々な側面から総合的に思考・判断し、理解したり表現したりすることです。また、その理解や表現について、改めて言葉に注目して吟味することです。

Q 「思考力、判断力、表現力等」の各領域において、児童・生徒の資質・能力を育成するためのポイントは？

A1 学習指導要領「思考力、判断力、表現力等」(1)の指導事項に示されている内容を、(2)の言語活動例を通して指導することが大切です。また、学年間の系統性を踏まえることも大切です。

【小学校例 C読むこと(第6学年)】

【中学校例 C読むこと(第1学年)】

(1)指導事項

オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

(2)言語活動例

ア 説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。

系統性

(1)指導事項

オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。

(2)言語活動例

ア 説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを、報告したり文書にまとめたりする活動。

A2 学習指導要領に示されている学習過程(小・中学校共通)を意識することが大切です。

《話すこと》

《聞くこと》

《話し合うこと》

《書くこと》

《読むこと》

話題の設定  
情報の収集  
内容の検討

話題の設定  
情報の収集

話題の設定  
情報の収集  
内容の検討

題材の設定  
情報の収集  
内容の検討

構造と内容の把握

構成の検討  
考えの形成

構造と内容の把握  
精査・解釈  
考えの形成  
共有

話し合いの進め方の検討  
考えの形成  
共有

構成の検討

精査・解釈

表現  
共有

考えの形成  
記述

考えの形成  
共有


推敲

共有

【資料1】職業について書かれた本の「パン職人」のページ

焼き立てのかおりに包まれて

### パン職人の仕事



朝5時からパン作り開始  
7時の開店にやき立てのパンを並べるために、朝5時からパン作りが始まります。前日に準備した生地をパンの形にし、発酵させ、焼き上げます。何種類ものパンを作るため、朝から大忙しです。パン職人は、これを毎日行います。

気になる天気  
パンの仕上がりは天気や気温、湿度によって大きく左右されます。翌日の天気予報を確認し、生地の配合などを調節します。

5:00	パンの生地の確認 パンの形作り、焼き
7:00	開店
11:30	パンの形作り、焼き
14:00	翌日の天気の確認 翌日の生地作り
17:00	片付け
19:00	翌日の準備 閉店

《パン職人への道》

```

    graph TD
      A[① 中学校] --> B[② 高等学校]
      A --> C[③ 大学・短期大学]
      A --> D[④ 専門学校]
      B --> E[⑤ 助手として修業]
      C --> E
      D --> E
      E --> F[⑥ パン職人]
    
```

1 谷口さんたちは、将来なりたい職業について調べ、クラスの中で紹介し合うことにしました。谷口さんは、パン職人を選び、【資料1】を読みましたが、もっとくわしく知りたいと思ったので、【資料2】も読みました。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

### パン職人の声

パン職人になったきっかけを教えてください。

1 子供のころから、ふわふわ、もちもちのパンの食感が大好きで、たくさんパンを食べました。そして、小学校高学年のころから、そんな大好きなパンを、自分で作りたいと考えようになりました。

2 どのようにして、パン職人になったのですか？

2 中学校、高等学校を卒業した後、専門学校に入学していろいろな料理の基本を学びました。専門学校を卒業後、地元のパン屋に就職して、パン作りの助手として修業をしました。修業中は、夢中でパンの作り方を学びました。四年たってパン作りの全てを任せられ、職人として一人前と認められるようになったときは、本当にうれしかったです。

3 この仕事の大変なところ、苦勞は何ですか？

3 同じ種類のパンでも、材料の分量や、焼く温度などをその日の天気や気温、湿度などに合わせて変える必要があるため、毎日同じ味になるように作り方を考えるのが難しいです。

4 また、お客様がどんなパンを食べたいのかを想像し、自分が新しく考えたパンを思いどおりに作ることは、さらに難しいです。

5 どのような時に仕事の喜びを感じますか？

5 わたしはパンが大好きなので、パンのかおりに包まれているだけで幸せな気持ちになります。

6 自分の思いどおりのパンが焼き上がった時は、とてもうれしいです。いいにおいに包まれないが、ふくらんで焼き上がったパンがから出てくると、パン作りの苦勞がふき飛ぶます。

7 焼き立てのパンがお店に並ぶと、お客様から「わあ、おいしそう。」とかん声が上がることがありますが、そんなふうにお客様のうれしそうなお声が聞こえた時は、パン職人をやっているのがとても実感します。

【資料2】パン職人について書かれた本のインタビューページ  
段落のはじめにある数字は、その段落の番号を示しています。

**Q 問題の特徴は？**

A 従来の「B問題」に該当します。

**Q 問われる力は？**

A 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方ができる力です。

**Q 意識すべき学習過程は？**

A 「読むこと」の「構造と内容の把握」「精査・解釈」です。

**Q 日頃の授業で留意することは？**

A この問題では、「どのようにして」という問いに対する答えを資料2で見つけてから、資料1で順番を確認します。日頃から複数の情報を関連付けて読ませていくことが大切です→言葉による見方・考え方

- 5 4 3 2 1
- ① ↓ ① ↓ ① ↓ ① ↓ ① ↓
- ② ↓ ② ↓ ② ↓ ⑤ ↓ ⑤ ↓
- ③ ↓ ③ ↓ ④ ↓ ⑤ ↓ ⑥ ↓
- ④ ↓ ④ ↓ ⑤ ↓ ⑥ ↓
- ⑤ ↓ ⑤ ↓ ⑥ ↓
- ⑥ ↓ ⑥ ↓

(2) 谷口さんは、坂下さんがどのようにしてパン職人になったのかを【資料1】の《パン職人への道》に当てはめて確かめることにしました。【資料1】に付けられた①から⑥までの番号を使うと、どの順番でパン職人になったかといえますか。その順番として最も適切なものを、次の1から5までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

(正答) 3

**Q 問題の特徴は？**

A 従来の「A問題」に該当します。(文章の中から適切な段落を見つけて読む。)

**Q 問われる力は？**

A 目的に応じて、中心となる語や文を捉えて読むことができる力です。

**Q 意識すべき学習過程は？**

A 「読むこと」の「精査・解釈」です。

**Q 日頃の授業で留意することは？**

A この問題では、資料2の「きっかけ」という言葉がキーワードになります。日頃からキーワードやキーセンテンスに着目させることが大切です。→言葉による見方・考え方

三 谷口さんは、【資料2】を読んでいます。次の(1)(2)の問いに答えましょう。

(1) 谷口さんは、坂下さんがなぜパン職人になったのかを調べています。谷口さんは、【資料2】のどの段落を中心に読めばよいですか。最も適切な段落を、【資料2】の中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

(正答) 1

